

桜台だより

2008年(平成20年)5月31日 第9号
発行・編集 桜台自治会広報部
ホームページ <http://www.i-sakuradai.jp/>

市原市桜台自治会

検索 

藤原会長の挨拶	2面	副会長の本年度の抱負	2面
自治会のあれこれ:「フロム・ツウ」て何?	4面	地区長の本年度の抱負	5面
副会長の退任にあたって	6面	知られざる桜台の人(四丁目の市川さん)	7面
専門部のコーナー(広報部)	8面	編集後記	8面

平成20年度桜台定期総会開催



写真・高村修次

平成20年4月20日午前9時半から、自治会館で定期総会が開かれました。出席者は16名(委任状772名)で会場を埋め尽くし、藤原会長の挨拶に始まり、坂井議長の司会で全4号の議案が審議され、一部懸案事項を含め承認されました。

本総会で懸案になった次の4項目については、本部役員会で今後議論を進めていきます。会員皆様の建設的なご意見をお待ちしています。

自治会館および土地の登記について

現在、桜台初期の住民634名の連名登記になっているが、過去の経緯、法的な調査をおこないます。

AEDの設置について

周辺の設置状況、費用、使用方法等の調査をします。

「AED」電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻すための機器」

未収会費の会計上処理について

会計処理のルールを作ります。内部留保金の規模について適切な留保金の調査・検討を行います。

平成20年度主な行事予定

月目	曜日	行事	場所
5/25	日	市内一斉清掃デー	桜台各丁目
7/20	日	有秋地区盆踊り大会(有志)	有秋公園
8/3	日	市民まつり(有志)	市役所前
8/23	土	桜台夏まつり~子供みこし、盆踊り	中央公園グランド
8/31	日	防災訓練~市原市総合防災訓練	有秋南小学校
9/15	月	有秋地区敬老会	アネッサ
10/11	土	有秋地区市民体育祭	有秋東小学校
11/1-3		桜台フェスティバル"ふれあいの集い"	自治会館、中央公園
4/19	日	平成21年度桜台自治会総会	自治会館

新年度を迎えて

会長 藤原 忠



深城池周りの美しかった桜も散り、新緑がまぶしい季節になりました。

りました。昨年度中は、自治会活動に会員の皆様のご理解とご支援を頂き有難うございました。おかげさまで特にトラブルもなく順調だったと思います。今年度も新体制でスタートしましたので、協力の程よろしく願います。

現在桜台の人口は、市原市の資料によると約3650人で、ピークだった平成8年の4300人に比べ年々減少し、少子高齢化が進んでいます。最近は、南小学校の新入生が35人前後で1クラスが続いています。一方、65歳以上の割合は20%で今後ますます増加傾向にあります。

又、年齢別人口分布で見ると、60歳前後の人が最多で、40歳前後が少なくなっています。

自治会が昭和56年に設立されて今年は27年目ですが、当時30歳〜40歳で入居された人達が定年退職の年齢になり、この団地で育った子ども達が巣立っていったと云うことです。

今後の桜台を考えると、高齢者が増えて大変だと思つ反面、全国各地から集まった人生経験豊富な人たちが、線で結んで仲間になれば、団地を活性化する熟年集団ができるのではないかと思います。

幸い、平成16年末から始めた防犯ボランティアパトロールも、先細りすることなく毎日15名前後の参加者があり、定着した感じがしています。最近では有志が健康野球教室の同好会を作り週1回汗を流して楽しんでいきます。

又、昨年から始めた「花一杯運動」は、専門部の役員だけで行っていました。今年から応募して頂いたフラワーボランティアの皆さんと共に花壇を広げ、元気のあるきれいな団地にしていきたいと思っています。

副会長の本年の抱負

自主防災の啓蒙について

1丁目副会長 渡辺久幸



先般開催された平成20年度自治会定期総会の決議で、活動方針

の一つとして『高齢者世帯の生活支援をする街づくり』が取り上げられました。

自主防災会としても方針の一つとして、『災害時要援護者への支援』を前年度に引きつづいて上げられております。

桜台自治会も年々高齢化が進み、現在70歳以上の方が約400名居られます。勿論ほとんどの方は、サークル活動や積極的な外出などでお元気に生活をされて居りますが、中には高齢や健康上の理由から、外部とのコミュニケーションがとりにくくなっている方も居ります。防

災会としてもこの問題に関して前年度も取り組んでおりますが、プライバシーの問題や個人情報保護の問題もありなかなか実態の把握が進みにくい現状にあります。

言つまでもなく自主防災は、自分や家族は自分で守る『自助』、近隣や友人などが助け合う『互助』が一番先にやるべき基本行動です。

特に『互助』については阪神神戸大震災、新潟中越地震の際に、閉じ込められたり身動きがとれなくなつて助けられた人の約3割が近隣の人達の『互助』によるものであったとのデータがあります。

このような教訓からも桜台において、まず援護を必要とする方の実態把握を優先すべき課題として取り組んでいきたいと考えております。

先に述べましたようにプライバシー等の問題もあり、関係防

災部門のみでは解決出来ない事もあり自治会全体の課題としてご協力をお願いしたいと思っております。

また、全戸に配布されている『桜台自治会防災マニュアル』を活用した減災対策を繰り返してお願ひして行きたいと考えております。

生活環境部アドバイザー 防犯パトロール隊員

2丁目副会長 田村 肇



子どもたちを見守り育成する
街づくり

防犯ボラン
ティアの隊員
皆さんによる、
町内防犯パト
ロールは、午

前、午後と行われ、二丁目巡回時以外は学校へも立ち寄り、校内での見回りと子どもたちの安全全校を見守っておりますが、その際、校長、教頭、及び各教員より色々な情報が入り、またパトロール隊からも学校へ情報

を伝え、子どもたちへの安全に努めております。これからも継続して行きたいと思う。

子どもたちを育成する事については、まず挨拶が出来る事。

私たちパトロール隊員への挨拶の出来る子ども達は大変多く見受けられます。これらは家庭及び学校での指導が浸透してきたものと思われませんが、誰にでも挨拶ができる様になってほしいので、パトロールの時以外にも声掛けをして行きます。

また桜台フェスティバルでの子どもたちと遊びの場での事。できない遊びはすぐに諦めて他の遊びへ、出来るまで頑張ろうとする意欲が乏しい。次回フェスティバルでは出来る喜びを体験して貰いたく、子どもたちと一緒に頑張り指導して行きたい。その他、学校側にも要望を聞き、無理なく行ってゆきたいと思えます。

ゴミのない花一杯の街づくり
ゴミのない街については、今まで通り防犯パトロール隊の一

員として積極的に参加を致しパトロールをしながらゴミ収集をしてゆきます。

各バス停付近の清掃についても生活環境部と連携して行う。

昨年より取り組んで来ました花一杯運動は、生活環境部の大きな活動方針でありました。今年も活動方針にあり花一杯運動のボランティアも募集し、花の好きな、また花について知識のある方々が参加されますので、昨年以上に花一杯の街にと期待される所です。生活環境部のアドバイザーですが花の事については知識が乏しいので、ボランティアの方々と生活環境部の皆さんに労力で協力して、花一杯の街を作って行きたいと思えます。

高齢者世帯の生活支援をする
街づくり

昨年福祉部の基本方針の一番に掲げた「高齢者世帯の生活支援」について、部として声掛け運動を行った様ですが、プライベートな事でもあり、今一つ踏

み込めなかつたと聞いております。

高齢者世帯の方々が、何処まで何をしてほしいか、自治会としてどこまで支援出来るか、具体的に世帯者ごとにチェックリストなどの作成から取り組みが必要ではないかと思っております。声掛け運動などの軽微な事であれば、防犯パトロールの時にどに時間を設けて訪問するなど協力して行きたいと思えます。

働き盛りの皆様を応援できる
街づくり

桜台より離れている若い人達を桜台に呼び戻し、活気のある街にとの活動方針を立てましたが、先を見据えての事であり、さらに桜台自治会だけではなく広く周辺地区自治体にも及ぶ話である為、具体的に何からなすべきかの議論を進め、その実現にむけて努力して行きたい。皆さまからの提案を歓迎します。

自治会役員を1年間経験して

3丁目副会長 朝廣紀夫

「桜台は犬・猫のトイレではありません」

「桜台の道路は無料駐車場ではありません」

「桜台自治会は苦情処理係ではありません」



これがこの1年間自治会役員を務めての私の感想です。終の

棲家とは言わなくても、この桜台で快適に生活を送りたいと思いい、自分で選んだ生活の場合に、自ら住み難くしている人が見受けられるのは非常に残念です。住民が3千人もいれば、何かのトラブルは発生しますが、皆さんで最小限のトラブルにする努力しようではありませんか。桜台に住んでいて本当に良かったと皆が思えるような環境作りの手助けをするのが自治会です。皆さんが自治会活動に対

し関心を持ち、時間が許す範囲で積極的に参加して下さることを希望します。

一昨年の中頃、友人に誘われて防犯パトロールに参加するようになった。それまで、自治会活動に全くの無関心な私が、会長さんを初め、役員の方々が頑張っている姿をみて、何かお手伝い出来る事はないかと、昨年度3丁目副会長を引き受けました。何もしないままにあつたという間に1年間が過ぎてしまつたというのが実感です。今年ももつと貢献出来ればと思いい、もう1年副会長を務めさせて頂くことにしました。

私の今年度の副会長としての任務は企画担当です。自治会のビッグイベントである八月の夏まつりと11月の桜台フェスティバルを実施します。桜台住民の皆様が一堂に集まり、お互いにふれ合える貴重な機会です。で、大いに盛り上げたいと思つています。一人でも多くの皆様の参加を希望しています。

この二つ以外でも、桜台住民

の相互触れあいに関する良いアイデアをお持ちでしたら是非お聞かせください。

新役員ご挨拶

4丁目副会長 川合秀樹



この度4丁目副会長（総務担当、体育部アドバイザー）を仰せつかりました。

桜台に引越して来てから27年、自治会活動に関係したのは3年ほど前から参加させて頂いている防犯パトロールだけで、直接自治会活動をするのは今回が初めてなので緊張しています。どこかで自治会本体への奉仕をしなければとは思っていたので突如降ってきたお話を受けることに致しましたが、そんなことですので何をしたいかどんなやりかたをしたいかなどと考える余裕はありません。とにかく出来ることをして、皆様のお役にたきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

「フロム・ツウ」て何？

桜台の随所に夜道を照らす街路灯が設置されている。この街灯は夜間通行時の防犯の役割も持っている。ところが、街路灯の側に樹木があり、その枝が大きく伸び、夜道を暗くしている所が数か所あった。

早速、防犯ボランティアパトロール隊の方、延べ35名で大木の枝打ちをし、街路灯が夜道を明るく照らすようになつた。



この枝打ちのきっかけになつたのが「フロム・ツウ from to sakuradai」です。自治会への提案、要望、情報などをお待ちしています。「フロム・ツウ」は、所定の記入用紙が自治会館事務局にあり随時お受けいたします。

文 森田 貞夫

地区長の本年度の抱負

2008年度活動計画

1丁目地区長 竹下 安弘



一・自治会活動の方針に対して

4方針全てに対し、地区

長として活動するのは当然のことであるが、特に地域の防災・防犯活動に注力する。このため、

自主防災活動のための防災

倉庫備品の点検強化

防犯活動としては犯ボラン

ティアパトロールへの積極

参加

地域の一戸一灯運動支援

その他自治会行事に参加・

支援を行なう。

二・地区長としての活動計画

地域の人々の要望を吸い上げ、住みよい一丁目・地域とする。

そのために

要望を聞く場として地区役員会を少なくとも2回開催

する。

班構成軒数の不均衡を小さくするため、班の再編を実施する。

副会長・地区長の選出方法を明確にする。

文化部アドバイザーとして文化部活動を支援する。

地区長2期目にあたり

2丁目地区長 西田 豊



地区長になつて2年目ですが、前年を振り返つて見ま

すれば、今まで会社勤めをしていてボランティアという意識もなかつたのが、会社を辞めて1年以上が過ぎ暇もあり、長く桜台に住んでいて少しは地域のためにも1回位は役員を引き受け

なければいけないかなあとの思いで、地区長の重責を担うことになりました。

地区役員は初めてのことであり、右も左もわからず他の役員の方々にもいろんな迷惑をかけた1年でした。2年目となった今年はわからないではすまされないことが多々あると思います。自分ができる範囲内で精一杯の努力をして、少しでも桜台の住民の方々が桜台に住んでいてよかつたなと思われるような環境にしていきたいと思ひます。

役員になつて大変だなあと思うこともありますが、それ以上にいろんな人達とのつながりができました。

桜台倶楽部や防犯パトロール、麻雀、そして参加することに意義がある飲み会やカラオケと、今まで知らなかつた地域の仲間が増えて気軽に話し合い、会社では味わえなかつた生活環境を楽しんでいます。

3丁目地区長を受けて防犯部アドバイザーとして

3丁目地区長 杉原 敏文



この度、3丁目地区長の大役を受けた。桜台の住民となり二十数

年になるが、今まではお世話になるばかりで自治会の活動に参加する事がなかつた。

今回、前地区長の玉木さんのご推薦でこの機会を得、何か出来る事があればと、お受けした。さて、桜台を省みると私同様の世代が最も多く、まさに高齢化社会にある。

これからの期待をになつ若年層(若者たち)の分布は尻すばみで現状では遠からず年寄りの町と化する。

若者が住みたくなる町にするため、安心、安全な街づくりが必要不可欠である。幸いにして緑豊かな環境にある。さらに人の和、助け合う土壌が必要である。そのためにはまず住民同士

が挨拶をする事から始めたい。隣近所の「お早う御座います」の一言が明るい町づくりの第一歩となると思う。

「ご近所の挨拶からお互いへの気配りとなり、助け合い、町に不審者をいれない住み良い街づくりに繋がるのでは。さすれば子育てにも安心と若者も定着するのでは。」

頂上ははるか彼方であろうがまず第一歩を皆様と共にしりたいと思う。

皆様のご協力で明るく住み良い街づくりを目指しましょう。お願い致します。

桜台自治会平成20年度活動方針に向けての取り組み姿勢
若いご夫婦が住みやすい桜台を目指して

4丁目地区長 中野 直樹



4丁目地区長を昨年に引き続き担当させて頂く事になりました。宜

しくお願い申し上げます。

今、春爛漫、満開の桜に漲る新緑と、取巻く美しい自然環境の園にある桜台。この素晴らしい環境で、若いご夫婦の子育てから、定年後のんびりと余生を楽しまれる先輩の皆様まで、老若男女が力を合わせ、活気ある街づくりが・・・今、盛りにあります。

桜台 桜の園に 桜咲く

次代見据えし 深城桜

今日の桜台は、お元気な60〜70歳代の皆様の各種活動、例えば防犯パトロール隊等に象徴されるボランティア活動、すなわち・・・次代を見据え、いつまでも安全で安心して暮らせる、活気のある綺麗な桜台を」との想いから、築き上げられて来たのだともお察し致します。

これから、「この素晴らしい桜台の長閑（のどか）な和む住みよい暮らしの住環境」を維持し発展させていく為に、地区長と致しまして各種行事（夏祭り・夏季早朝さわやかラジオ体操・体育祭・文化フェスティバル・

PC教室等）に率先し取り組み、住みよい環境づくりに貢献して参りたく考えております。

懸念材料は、桜台も少子高齢化（若い世代の流出）が進行していることであります。従いまして、10年〜20年先を見据えた中長期ビジョンも桜台には必要になってまいります。

これは、桜台のみならず周辺の「椎の木台・青葉台・泉台」等の自治会も同じ推移と察します。すなわち、今後の桜台の町づくりの課題は、若いご夫婦が住みやすい、換言すれば、「ビジネス環境に耐えうる利便性が確保されている事」が不可欠なつてまいります。

この中長期ビジョンは、市原市・千葉県・JR・国へとアピールしていかねばなりません。

その為にも、今から周辺の自治会とも意見を交換し想いを共有し取組む必要があります。そのアクションを今年度から取組めるよう提案し実践していきたく考えております。

以上の想いを抱き、藤原会長

の下、平成20年度桜台自治会活動方針に基づき、微力ながら頑張つてまいりたく宜しくお願い申し上げます。

副会長の退任に

あたつて

「役員を終えて」

前1丁目副会長 武石 誠

桜台自治会の副会長を2年間勤めさせていただきました。

企画担当として、夏祭りを主体に活動してきましたが、夏祭りでは班長の時を含めて3年間活動しました。

独身時代に何かのきっかけで桜台の夏祭りを見て、大勢の人がいて、「こんなところに将来住みたい」と微かに感じていました。そして、桜台に住居を構えたのが平成6年で、その間、毎年夏祭りを楽しみにしてきました。3年前の班長の時に夏祭り委員を担当し、当時の笹野副会

長が祭りをもっと盛上げたいとの考えから、同じ思いであった私もそれに賛同し、「盆踊り」を主体とした夏祭りを行い、自治会の多くの皆さんが参加していただく祭りにしようと考えました。

自治会の皆様のおかげで、近年、「盆踊り」の輪も二重になつて大勢の方々が参加されるようになりました。又、夏祭りでは自治会の各専門部の皆様方が、最初は戸惑いながらも各々の担当に精力を注いで頂き、自治会の総力が発揮できると共に、「人を知る」「人脈を作る」上では、かけがえのない行事になりつつあります。

今後は、微力ではありますが、夏祭りでの「盆踊り練習」や「太鼓練習」には引き続きお手伝いさせて頂いたいただき、より一層「桜台夏祭り」の充実のために「自ら楽しく」をモットーに自治会の活動に参加していきたいと考えています。今後共、皆様のご協力の程をよろしく願っています。有難うございました。

知られざる 桜台のひと

千葉県民写真展
グランプリ受賞に
輝く

4丁目の市川淳さん



第33回千葉県

民写真展(2008

年3月)が千葉県立

美術館で開催され

たが、応募者789

名、2395点で昨年より約

5%

増だった。

同写真展の4部門の中で最も優れた人に贈られるグランプリに、市川さんの「地鎮祭(親子三代)」(課題・家族の部の最優秀賞)が選ばれました(写真)。

主催者の全日本写真連盟は

「この地に若夫婦達の家を建てると言う至福の刻が、ギッシリと詰まったストレートな写真に好感が持てます。女性神主も今日性を感じます。双子ちゃんの興味ある顔や、一歩下がって見ている老夫婦など、二世世代家族の姿はこの課題にピッタリ合っています。(全日写真連千葉県本部ホームページより)」と講評しています。

市川さんにインタビューをさせて頂き、先ずはお人柄に魅力を感じました。

生を宿され69年間の人生の歩み・体験がカメラアングルとシャッターに凝縮されているように思えてきます。

幼き日の戦争体験・ご両親との別れ、自立、航海経験、そして燃料電池実証試験に携われる等、いろんな苦難を乗り越えられた御経験から、鋭い洞察力がシャッターとアングルに凝縮され、出来上がった写真(創造画)が、多くの人々に感銘を与えるので

しょう。

この市川さんの豊かな表現力は、とりわけ、これから大志を抱き次代を担う桜台の若き人達に、大きなプレゼント(刺激)になるであろうと、感じた次第であります。

これからも、市川さんの益々のお元気なご活躍を心から期待し願うところであります。

若き日の 重ねし苦勞 今活きる

次代(家族)育む

耐え抜く力

私達が暮らす桜台には、およそ1250世帯・老若男女3650名の住民の皆様がいらっしやいます。

そんな桜台から、いろいろな才能を持ち世界に発信される方々・ボランティア活動など多方面で活躍されている方々がおられます。

そんな「知られざる平凡の偉大さに徹した桜台の著名人」をシリーズで紹介してまいります。

文・中野直樹

本部役員会情報

5月11日(日)に本年度第1回目の本部役員会が開催されました。

会長から、市原市への交付金・補助金申請額は合計1,363千円、自治会分担の納付予定金は合計700千円、主な備品購入・工事は、相談室のエアコンの更新・玄関口のらせん階段の塗装を予定している等の報告がありました。

地区長、専門部長から活動報告があった後の主な質疑・討論内容は、

(1) ごみ集積場ネットの柵(さく)の老朽化に対する補修費用について

ネットは自治会から支給している。柵(さく)の材料費は生活環境部と打ち合わせの上、ゴミ集積場管理費の中から補助していきたい。

(2) 路上の違法駐車対策について

道徳的観点で啓蒙する。また、違法駐車常駐者への駐車場の斡旋あるいは自治会から手紙を出し理解を得るようにする。

その他、中央公園の通称「深城池」は、行政上の名称は「調整池」であり、なじみのある名称にすべく働きかける。団地内に「防犯カメラ」を設置してはどうか。高齢者や、免許証を持たない人のために「シャトルバス」の検討をしてもらいたい等の提案がありました。

専門部のコーナー

広報部

広報部では、自治会の活動状況を皆さんにお知らせするために「桜台だより」および「桜台ニュース」のタイムリーな発行を目指しています。また、ホームページ作成委員会と共同でインターネット活用方法などの勉強会を開催検討中です。

メンバーは中野アドバイザー、森田部長を含め11名です。



編集後記

定期総会も盛況の内に終了し、専門部の活動が始まっています。防災部は5月18日と25日の両日消火器の点検を行いました。生活環境部は昨年引き続き「花ボランティア」と共同して「花いっぱい運動」を開始しました。

会長・副会長・地区長さんに本年度の思いを熱く語っていただきました。活躍を期待しています。

従来、本誌は横書きでしたが、本号から新しい試みとして、新聞と同じように縦書きを基本にしています。いかがでしょうか。

・・・

広報誌は、平成12年発行の創刊号から自治会のホームページでも見ることが出来ます。

ホームページは、ヤフーあるいはグーグルGoogleで「市原市桜台自治会」で検索すると一番最初に表示されます。